

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	A1	地域密着型サービスのいわれ、地域に根差した施設としての地域交流、貢献がなかなか進まない。	どんな形でも良いから1つでも多く、地域の方と関われる行事、日常的に親交が深まることを行っていく。	認知症についてのお芝居を披露して、認知症の理解と対処方法を教える。定期的な講演を行い地域の方々に知っていただく。他に地域の行事に参加をさせていただく。	12ヶ月
2	B1	介護保険においてのスタッフの人員基準で勤務しても、利用者との関わりにおいてプラスアルファの事がなかなかできないのが現状です。(外出行事、個別介護等)	外出行事の時は日程を早めに決定し、スタッフの人員のシフトに反映させ、事前準備をおこたらないようにする。人員の補充。	利用者の中で身体レベルの低下、認知症の重度化等になられた利用者の方々には個別介護をしなければならない状態であり、他の利用者はミーティングをして、何ができ、何ができないか等、もう一度介護計画を見直し自主的に行える事を捜し、実行をする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。